

# これからの生活に備えて 「乗ってみらんね！」 路線バス

市内では自家用車（マイカー）を利用する機会が多く、通勤や通学、通院の際の送迎などにマイカーを利用している人が多いのではないのでしょうか。その一方で、鉄道やバスなどを利用する人は減少し続け、その維持・存続が課題となっています。今回は、公共交通の中でも路線バスに焦点を当て、その現状と活用する意義について考えます。

◎問い合わせ 総合政策課  
☎23-7161

## 地方の路線バスの現状

マイカー普及などの理由から、路線バスの利用者は大きく減少。九州運輸局によると、県内路線バスの年間利用者は、昭和44年から平成30年までの約50年間に88割減少しています。「普段、バスに乗らない」という人も多く、行政とバス運行事業者のみの努力では、路線維持が厳しい状況となっています。

## 高齢運転者とマイカー

都城警察署によると、市内の65歳以上の運転免許保有者は、平成24年の約2万6千人から平成30年の約3万3千人に増えていています。

一方で、全国的に高齢ドライバーによる運転操作の誤りが原因となった事故が報告されていて、年を重ね判断力の低下などから、事故を起こしたり、起こしそうになったりした人もいるのではないのでしょうか。

## 運転できなくなったときの移動手段

私たちが、普段の生活の中でマイカーが必要なことも事実です。市が行った路線バスに関する聞き取り調査によると、「元気なうちは、マイカーのない生活は考えられない」などの声が聞かれましたが、運転免許を返納してからの「移動手段に困らない生活」を送るために、マイカーを運転できる今のうちから路線バスに乗り慣れておきませんか。

## 若者が考える 市内路線バスの課題

都城泉ヶ丘高校2年生が6月から11月にかけて、市内路線バスの現状や課題を探索。「若者の利用が少ない」「学校付近にバス停がなく、部活動や課外授業の時刻と合わない」などの課題を確認し、課題解決に向けて意見を出し合いました。市では、今後、若い世代の意見も参考にしながら、永続的な路線バスの方向性を検討していきます

### ●高校生の考えた課題解決策

- ・通学時間に合わせたダイヤに変更
- ・雨の日は料金を割り引く
- ・学校の近くにバス停を設置
- ・多数の利用者が見込まれるイベント開催時には増便

## スマホアプリを使って バスの位置が分かる



宮崎交通(株)が、スマートフォンやパソコンを使って路線バスの位置情報を簡単に把握できる無料サービス「宮交バスどこドコ??」をスタート。

現在地のほか到着時刻もリアルタイムで把握でき、乗り場の地図も表示します。